No.

土 質 柱 状 図

No. A 6

調査件名	厚木市余熱利用施設新築敷地地盤調査委託
調査場所	神奈川県厚木市金田 1156 番地
調査期間	昭和 63 年 1 月 16 日 ～ 昭和 63 年 1 月 18 日
地盤高	標高 19.402 (M) ／ 地下水位 G.L －4.50 (M) (自然孔内)
使用機械	ロータリー式 ／ 孔径 66 m/m
現場担当者	[redacted]

備考

標尺	標高 (M)	深度 G.L (M)	層厚 (M)	土質記号	土質名	色調	観察記事	相対密度	相対稠度
	19.402	0.00							
1	17.602	1.80	1.80			暗灰褐	上部 GL.－1.00m 付近まで、砕石・グリ石等も多く混じえる。		柔
2									軟
3	16.302	3.10	1.30			暗褐 暗褐灰	GL.－2.50m～3.00m 間、コンクリート塊を混入する。		中位
4							粘性土の残土・ガラ等が混合した埋土である。		
5									
6							漏水・崩壊等が見られる。		中位
7							GL.－7.00m 付近より、ガラが少量となり粘性土が主体となる。		柔
8						〃			中位
9							土質・色調等が不一定である。		
10									
11							GL.－11.00m 付近より、暗灰茶色の粘土を主体とし、固結粘土塊を混入する。		中位
12									
13							GL.－13.50m 以深、礫を混入する。		
14	5.302	14.10	11.00		埋土	暗茶灰			
15	3.602	15.80	1.70		砂質シルト	暗灰	凝固状のシルトである。微細砂を挟在する。少量の有機物を混じえる。		中位
16	2.902	16.60	0.70		砂質粘土	暗茶褐	礫径 φ5㎜～40㎜程度である。固結した砂質粘土を挟む。		硬
17						暗茶褐 〃	酸化粘土を挟む。	密	
18	0.802	18.60	2.10		玉石混り砂礫	暗茶灰	礫径 φ5㎜～60㎜程度である。φ80㎜～100㎜程度の玉石も点在する。		
19							礫径 φ10㎜～60㎜程度である。酸化礫を混入し、含水が多い。		
20	-0.898	20.30	1.70		玉石混り砂礫	暗褐茶	黒褐色の礫を混じえる。		
21									
22	-2.798	22.20	1.90		礫混り玉石	暗褐茶	GL.－21.00m 付近に硬質な玉石も混入する。少量の酸化粘土も充填する。	密	
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									

標準貫入試験

深度 G.L (M)	打撃数	30cm 打撃換算数	10cm毎の打撃回数 回／10cm 10	20	30
1.15	3	1	1	1	
1.45					
2.15	7	2	3	4	
2.45					
3.15	4	1	2	1	
3.45					
4.15	4	1	1	2	
4.45					
5.15	6	2	2	2	
5.45					
6.15	4	1	2	1	
6.45					
7.15	3	1	1	1	
7.45					
8.15	5	1	2	2	
8.45					
9.15	4	1	1	2	
9.45					
10.15	4	1	2	1	
10.45					
11.15	4	1	1	2	
11.45					
12.15	5	1	2	2	
12.45					
13.15	8	2	3	5	
13.45					
14.15	5	2	1	2	
14.45					
15.15	7	2	2	3	
15.45					
16.15	25	7	8	10	
16.45					
17.15	75	23	27		
17.45					
18.15	150	50/15			
18.23			24/3		
19.15	93.7	26	6		
19.31					
20.15	150	50			
20.25	50/10				
21.00					
22.15	300	50/15			
22.20					

打撃数 (回)

0 10 20 30 40 50 60 70

▼ GL.－4.50m

75
187.5
75
150
貫入不能
300

土　質　柱　状　図

No. A 7

調査件名	厚木市余熱利用施設新築敷地地盤調査委託
調査場所	神奈川県厚木市金田 1,166 番地
調査期間	昭和 63 年 1 月 20 日 ～ 昭和 63 年 1 月 26 日
地盤高	標高 19.727 (M)　地下水位 G.L -5.00 (M) (自然孔内)
使用機械	ロータリー式　孔径 66 m/m
現場担当者	[redacted]

備考

標尺	標高 (M)	深度 G.L (M)	層厚 (M)	土質記号	土質名	色調	観察記事	相対密度	相対稠度	深度 G.L (M)	打撃数	30打 cm 換算数	10cm毎の打撃回数 回／10cm 10	20	30
	19.727	0.00													
0							上部 5cm アスファルト、以下コンクリートを主体とする。								
1	18.727	1.00	1.00		埋土	暗灰			堅	1.15					
2							φ5m/m～40m/m 程度の礫石を主体とする。			1.45	10	13	13	14	
3							粘性土を充填する。		中位	2.15					
4										2.45	8	2	3	3	
5							ガラ・木片も混入する。			3.15	8	2	3	3	
6							G.L.－5.00 m 付近、完全逸水する。			3.45					
7										4.15	6	2	2	2	
8	11.727	8.00	7.00		埋土	暗褐				4.45					
9							ローム を主体とし、礫・ガラを混入する。			5.15	7	2	2	3	
10							含水 比較的多い。		中位	5.45					
11	8.727	11.00	3.00		埋土	暗褐				6.15	5	1/7	2/12	2/11	
12							φ100m/m 以上の玉石を主体とする。	極密		6.45					
13							φ5m/m～40m/m 程度の亜円礫を混入する。			7.15	5	1/7	2/12	2/11	
14							崩壊・逃水が激しい。			7.45					
15	4.127	15.60	4.60		玉石	暗灰	砂質土を充填する。	極密		8.15	5	1/8	2/12	2	
16							含水 多い。			8.45					
17	3.027	16.70	1.10		シルト質粘土	暗灰	腐植物を混入する。		堅	9.15	6	2	2	2	
18							含水 比較的多い。			9.45					
19	0.727	18.80	2.10		粘土混り砂礫	暗褐	φ5m/m～40m/m 程度の亜角礫を主体とし、粘性土を充填する。	極密		10.15	4	1/7	1/8	2/13	
20							含水 少ない。			10.45	50/10				
21							φ5m/m～40m/m 程度の亜角礫を主体とし、粘性土を充填する。			11.00					
22	-2.853	22.08	5.28		玉石混り砂礫	暗褐	所々で φ100m/m 以上の玉石を混入する。	極密		12.00	50/10				
23										13.00	500	50/15			
24										13.05					
25										14.00	249	50/16			
26										14.06					
27										15.15	714	77	73	5/11	
28										15.66					
29										16.15	11	3	4	4	
										16.45					
										17.15	60	15	17	18/5	
										17.40					
										18.15	324	16	18	15/4	
										18.37					
										19.15	100	26	24/5		
										19.80					
										20.15	113	29	21/3		
										20.28					
										21.10	160	50			
										21.20					
										22.06	500	50/13			
										22.08					

標準貫入試験　打撃数 (回)　0 10 20 30 40 50 60 70

▼ G.L -5.00m

貫入不能　貫入不能　500　247　71.4　100　115　160　500

No. 28

土 質 柱 状 図

No. A 8

調査件名	厚木市余熱利用施設新築敷地地盤調査委託
調査場所	神奈川県厚木市金田 1,166 番地
調査期間	昭和 63 年 1 月 23 日 ～ 昭和 63 年 1 月 26 日
地盤高	標高 19.360 (M) 地下水位 G.L - 5.10 (M) (自然孔内)
使用機械	ロータリー式 孔径 66 m/m
現場担当者	[redacted]

備考

標尺	標高 (M)	深度 G.L (M)	層厚 (M)	土質記号	土質名	色調	観察記事	相対密度	相対稠度
	19.360	0.00							
1	17.360	2.00	2.00		埋土	暗褐灰 黒灰	コンクリート塊・木片・玉石等のガラである。黒灰色の粘性土も混じえる。		軟柔
2	14.860	1.60	2.60		埋土	暗褐灰	GL.-2.60m付近まで、黒土である。少量のガラも混じえる。攪乱された粘性土の残土である。		
5	11.710	7.45	2.75		玉石混り砂礫	暗茶灰	礫径φ5㎝～60㎜程度である。上部、攪乱されている。色調、礫質が不一定である。若干の湧水が見られる。φ80㎜～100㎜程度の玉石も混入する。	極密	
8	8.210	11.15	3.70		礫混り玉石	暗灰茶	角ばって碎石状の礫が多い。礫径φ10㎜～55㎜程度である。GL.-9.00m以深、玉石の間隙が大きく湧水100%。玉石径φ80㎜～120㎜程度である。	極密	
11	6.160	14.20	3.05		粘土混り砂礫	黄茶灰	酸化粘土、磁鉄礫を挟在する。礫径φ5㎜～40㎜程度である。	中位密	
14	2.860	16.60	2.30		ローム質粘土	黄茶褐 茶褐	固結していて、コア状となる。砂質粘土も挟在する。	極密	極堅
17	1.710	17.65	1.15		粘土	暗灰	微細砂も少量混じえる若干青色味を帯びている。		中位
18	0.360	19.00	1.35		砂質粘土	暗茶灰褐	固結粘土も薄く挟む。GL.-18.60m以深、礫が多くなる。		極堅
20	-3.140	22.50	3.50		玉石混り砂礫	暗茶褐 暗茶灰	地層の変り目付近で、湧水が見られる。酸化粘土も充填する。礫径φ10㎜～60㎜程度である。φ80㎜～100㎜程度の玉石も混じえる。	極密	
24	-4.890	24.25	1.75		礫混り玉石	暗茶灰	玉石径φ85㎜～110㎜程度、礫径φ10㎜～50㎜程度である。角ばった酸化礫である。粘土も充填する。	極密	

標準貫入試験

深度 G.L (M)	打撃数	30cm打撃換算数	10cm毎の打撃回数 回／10cm 10	20	30
1.00	50/10				
2.15					
2.45	9	2	3	4	
3.45	3	1	1	1	
4.15					
4.45	4	1	1	2	
5.15					9/2
5.87	68.1	12	29		
6.15					20/8
6.45	53.5	12	18		
7.15					
7.45	35	11	10	14	
8.05	50/0				
9.15	600	50/3			
9.18		50/3			
10.15	600				
10.18					
11.15					
11.45	14	7	4	3	
12.15					
12.45	31	7	10	14	
13.15					19/8
13.45	53.5	12	20		
14.15					
14.45	24	12	4	8	
16.15	17	7	6	6	
16.45					
16.15	32	8	11	13	
17.45					
17.45	7	2	2	3	
18.15					
18.45	20	5	6	7	
19.15	65.2	18	21		11/3
19.38					
20.15	100	32			18/5
20.30	50/0				
21.15					
22.15	124.9	36			49/12
22.27	50/0				
23.10					
24.15	160	50			
24.25					